

グラウンド・ゴルフ協会

1. 平成25年度役員氏名

- | | | | | |
|---------|------|----------|------|------|
| (1)会長 | 宮元 保 | | | |
| (2)副会長 | 松越 護 | 佐藤和興 | 大村吉一 | |
| (3)理事長 | 村本宣弘 | | | |
| (4)副理事長 | 布村 巖 | 山岸秋雄 | 古村靖春 | 谷川一義 |
| (5)市評議員 | 宮元 保 | (6)連絡責任者 | 宮元 保 | |

2. 平成25年度活動目標

グラウンド・ゴルフ競技の普及振興と会員相互の親睦を図る。

3. 平成25年度主な活動

- (1) 市協会主催大会を実施した。
 - ・春季大会（5月20日）
 - ・夏季大会（7月16日）
 - ・秋季大会（9月23日）
 - ・市民スポーツレクリエーション祭（10月21日）
 - ・チャンピオン大会（10月28日）

4. その他

グラウンド・ゴルフ誕生秘話

1) 泊村（現在の鳥取県湯梨浜町）で開発された。

当時、泊村では高齢化が進み、健康づくりを重要課題としていた。そのため、文部省の補助事業採択に向けて村長が国や県へ奔走し、昭和57年に泊村は指定を受けた。そして、教育委員会を中心に、高齢者にふさわしい新スポーツの開発に取り組むことになった。

2) 誰が考案したのか。

考案組織は泊村教育委員会ですが、企画や原案作成の際は鳥取県外の14名の学識経験者による専門委員会が、実践活動には村内の老人クラブ連合と体育指導委員の皆さんが、多くの協力を寄せてくれました。

3) なぜグラウンド・ゴルフと名づけられたか。

ゴルフ場に行かなくても、地域に密着している学校の屋外運動場（グラウンド）でできるスポーツをイメージし、いつでもどこでもできるスポーツを目指したからです。